



各 位

2025 年 11 月 6 日

会 社 名 信 和 株 式 会 社

代表者名 代表取締役 則 武 栗 夫

コード番号：3447

(東証スタンダード市場・名証プレミアム市場)

問合せ先 常務取締役 執行役員 管理本部長 平 澤 光 良

(TEL. 0584-66-4436)

業績予想（IFRS）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 14 日公表の 2026 年 3 月期通期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2026 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前 回 発 表 予 想 （ A ）	17,800	1,650	1,520	1,000	71.96
今 回 修 正 予 想 （ B ）	20,000	2,000	1,820	1,246	91.20
増 減 額 （ B － A ）	2,200	350	300	246	
増 減 率 （ ％ ）	12.4	21.2	19.7	24.6	
（ 参 考 ） 前 期 実 績 （ 2 0 2 5 年 3 月 期 ）	17,503	1,622	1,498	975	70.17

2. 修正の理由

2026年3月期第3四半期以降の売上収益は、当初の事業計画に沿って堅調に推移する見通しです。主力製品である仮設資材や物流機器の需要は引き続き安定しており、仮設資材部門では「所有」から「利用」への需要シフトを的確に捉え、販売とレンタルの両面から柔軟な提案を強化しています。また、グループ会社であるヤグミグループにおいては、豊富な人材力を活かし、深刻化する人手不足のなかでも堅調な工事需要を確実に取り込み、仮設施工サービスの受注も順調に推移しています。物流機器部門においても、既存製品の性能向上や新製品の開発を進めるとともに、多様化する市場ニーズへの対応に注力しており、これらの取組みが売上収益の拡大に寄与しています。

利益面では、製造原価低減を目的とした内外製区分や仕入先の見直し、物流体制の最適化、生産効率の向上などの施策が、第3四半期以降も効果が継続すると見込まれます。これにより、安定的な供給体制の維持とコスト競争力の一層の強化が進み、収益性の改善につながっています。

以上の結果、売上収益・利益の両面で当初計画を上回る見通しとなったことから、通期業績予想を上方修正いたしました。当社は今後も、事業環境の変化に柔軟に対応し、継続的な改善活動を推進することで、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

3. 配当の予想の修正について

当社は、企業価値向上のために成長投資や財務基盤強化に必要な内部留保を確保しつつ、株主還元も重視しています。年間配当金は1株あたり32円を下限とする累進配当を基本方針としています。

今回の業績予想修正を受け、期末配当を前回予想より2.0円増配し、1株あたり18.0円とする予定です。これにより、中間配当の1株あたり16.0円とあわせて年間配当金は1株あたり34.0円となる予定です。

	第2四半期末	年間配当金（円）	
		期 末	合 計
前 回 予 想	—	16.0 円	32.0 円
今 回 修 正 予 想	—	18.0 円	34.0 円
当 期 実 績	16.0 円		
前 期 実 績 (2025 年 3 月 期)	16.0 円	16.0 円	16.0 円

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上